

## 関ヶ原の戦い

### ❁ 秀吉に取り立てられた武将が家康の味方？

関ヶ原の戦いについては、とんでもなく難しい問題が出されることがあります。すべての大名を東西両軍に区別するのは到底無理なことです、何人かは覚えておくべきです。わかりにくいのは、豊臣豊臣恩顧の大名であっても諸事情から家康側の東軍についた者が多いところです。加藤清正も福島正則まさのりも浅野長政も、みな東軍なのです。一方、西軍に属した大名では、五大老のうち家康と前田利家を除いた3人が挙げられます。

- ① 毛利てるもと 輝元…西軍の総大将で、周防・長門の2カ国に減封
- ② 宇喜多うきだ 秀家ひでいえのちに八丈島に配流
- ③ 上杉うがきつ 景勝…関ヶ原の戦いに先立って会津あいづで挙兵し、会津 120 万石から出羽よねさわ米沢 30 万石に減封  
(秀吉により越後から会津に転封されていた)

これ以外の人物でおさえおきたいのは次の3人です。

- ① 石田みつなり 三成…実質的な総帥で斬首
- ② 小西 行長…キリシタンのため自殺できず、斬首
- ③ 長宗我部盛親…土佐の大名で所領没収

ほかにも小早川秀秋こばやかわひであきの裏切りや、島津義弘よしひろが東軍を突破して無事薩摩に帰ったことなどエピソードには事欠かない関ヶ原の戦いですが、ほどほどにしておきましょう。それにしても、この島津氏が薩摩を本領安堵されて、幕末に毛利氏の長州藩と同盟を結んで徳川を倒すというのは、因縁を感じてなりませんね。



石田三成らは戦いの前夜まで大垣城おおがきに陣取っていたが、夜中に城を出て関ヶ原に陣を敷いた。ちなみに石田三成の居城は佐和山城さわやまである。

 **問題 1**

つぎの文章を読んで、下の設問に答えなさい。

1600年9月15日、関ヶ原に対峙したのは、前夜（ a ）城を出陣した（ b ）を前線指揮官とする（1）西軍8万数千と（2）徳川家康を総大将とする東軍7万数千、という大軍であった。豊臣政権の主導権争奪の戦いは、天下分け目といわれたにもかかわらず、わずか（ c ）時間で大勢の帰趨が決した。かくも迅速な決着は豊臣政権成立の特異性そのものにあった。（中略）関ヶ原で崩壊した西軍の中から（ d ）は東軍を突破して国元へ脱出した。10日後には、後方にいた西軍総大将すらも国元へ引き揚げた。前者の所領は永い交渉のすえ安堵されたが、後者は所領（ e ）カ国から2カ国へと減じられた。この二大名の末裔が、2世紀半余ののち連合して関ヶ原敗戦の仇を（ f ）の戦いでうつのであった。

〔A〕文中の空欄（ a ）～（ f ）にあてはまるもっとも適切な語句または数字を下記の語群から選びなさい。ただし、同じ語句を何回使用してもよい。

〔語群〕

- |           |          |          |           |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 01. 4     | 02. 8    | 03. 10   | 04. 15    |
| 05. 20    | 06. 25   | 07. 30   | 08. 50    |
| 09. 浅野長政  | 10. 石田三成 | 11. 石山   | 12. 宇喜多秀家 |
| 13. 大垣    | 14. 大坂   | 15. 小西行長 | 16. 小早川隆景 |
| 17. 佐久間盛政 | 18. 佐和山  | 19. 島津豊久 | 20. 島津義久  |
| 21. 島津義弘  | 22. 高松   | 23. 伊達政宗 | 24. 鳥羽伏見  |
| 25. 長束正家  | 26. 名護屋  | 27. 蛤御門  | 28. 秀頼    |
| 29. 前田玄以  | 30. 前田利家 | 31. 増田長盛 | 32. 毛利輝元  |
| 33. 毛利元就  |          |          |           |

〔B〕下線部（1）・（2）に関する以下の設問について、その解答を記入しなさい。

（1）総大将の姓名と、この時点で彼が指揮をとっていた城名を答えなさい。

（2）このとき彼は、いかなる大名の征討から戻ってきたのか。その大名の姓名を答えなさい。

95年 慶應大(商)改

 **解説**

「これが大学入試の問題なのか!？」という驚きと疑問が湧いてきているのではないかと思います。「大垣城」ならこの問題の翌年に早稲田で

も出されました。文句ばかりも言ってもらえません。正解すべきところは正解できるようにしましょう。しかし、いくらなんでもcやeの空欄はやりすぎだろうと思います。戦闘は朝8時に始まって、正午頃に小早川秀秋が東軍に寝返り、午後1時頃に西軍が総崩れとなったと言われています。そうすると5時間という解答がもっともふさわしく思えるわけですが、語群を見ると4時間か8時間しか選べません。それなら「大勢の帰趨が決した」のは小早川秀秋の寝返りを指しているのだらうと考えて、4時間と答えるわけです。一方、毛利氏の領国数は数え方によって8カ国とも9カ国とも言うようなのですが、語群に9はないので8カ国と答えてあげましょう。この2つの小問は削除してもよかったのですが、模試じゃなくて本番だとどこまでマニアックになってしまうのかを見てもらおうと思って残しました。また、dも語群に島津が3人もいるため難問になっています。秀吉の九州平定の際は島津義久が当主でしたから、区別するのは大変です。東軍突破の話はおもしろいですが、めったに出題されないため、苦勞してフルネームまで覚えてもあまり価値はありません。fは戊辰戦争と答えたくありませんが、語群にないのでその緒戦である鳥羽・伏見の戦いを選んでおきましょう。【B】(1)の総大将とは毛利輝元のことです。総大将のくせに前線には立たず、はるか後方の豊臣秀頼がいる大坂城に待機していました。負けた後はすぐに国元に帰っちゃいました。(2)は「五大老の一人」とかのヒントすらないため、これまたハイレベルな問題となっています。詳しく説明しましょう。関ヶ原の戦いの前、徳川家康は会津征伐に向かっています。上杉景勝が家康と対立して挙兵したからです。この会津征伐の目的はあくまでも「豊臣家のため」と掲げられていたので、征伐軍には福島正則らの豊臣恩顧の大名も多数含まれていました。そこに石田三成挙兵の報が届くと、家康は下野国の小山で軍議を開き、彼らをなんと味方に取り込んでしまったのです。同じ豊臣大名である石田三成を嫌う者が多かったのも、「三成憎し」の気持ちを燃えさせて自分側に引き込んだのです。こんな老獪な家康が相手じゃ、三成はかないませんよね？

答え【A】 a 13 b 10 c 01 d 21 e 02 f 24

【B】(1) 毛利輝元・大坂城 (2) 上杉景勝